

報告日 令和7年12月26日
報告回次 1回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	宮城県大和町			代表者名	浅野 俊彦
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総務課	連絡先電話番号	022-345-1112
担当者役職	DX推進アドバイザー	担当者氏名	岩尾 哲男	連絡先E-mail	
住所	981-3680 宮城県大和町吉岡まほろば1-1-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署
担当者氏名	連絡先電話番号

1-3. 支援を求める内容

支援方法	トップセミナー	事業名	大和町DX推進計画
概要	自治体DX推進について、DX実施の目的、推進体制、全体の進め方の手順に加え、自治体リーダー層としてどのようにDX推進するか、人材を育成させるかを講義頂きたい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年12月22日	事前打合せ(オンライン)	9時00分	10時30分	
				活動時間（分）	90

派遣場所	会場名	最寄駅	オンライン
	所在地	最寄駅からの交通手段	オンライン
	オンライン		

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高橋 邦夫
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に）	今回の1/23研修会の事前打ち合わせで、高橋講師に大和町の現在のDX推進状況、課題を説明したが、的確な課題のポイントについてのコメントを頂戴し、よくある事例としてご理解頂いており、研修会にて大和町職員にわかりやすいご説明を頂けることを確認できた。
アドバイザーへの要望事項	1/23研修会では、大和町のDX現状と課題を踏まえ、特に係長以上のリーダー層がジブンゴト化できる研修をお願いしたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	3人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
		人数	3	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	・自治体DX推進を今進めていく必要性と目指す姿があいまいになっている。 ・DXの推進体制が組織編成の点で他自治体と比較して確立されていない。 ・各課で業務改善、DXを実施すべき現状業務の課題意識が低い ・係単位では、従来の個別での業務遂行が継続し、係業務管理・連携でのチームワークが不十分
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	・自治体DX推進を今進めなければいけない理由、目指す姿が明確になること ・DXの推進体制構築の重要性を認識し、今後の組織編成やDX人材選定に繋がること ・担当レベルで業務改善の必要性を認識し、業務改善・DX取組を前向きに捉えられるようになること ・係のチームワークを高め、業務改善・DX取組も係の1業務として推進できること

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 自治体DX推進にあたり、現状のまま放置のリスクを把握することは大事 現状のDXリードを総務課総務法令係の組織名は改変する意味あり。 現状の業務に対し各自が改善の意識を持つことが大事
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 現状の町の業務状況をお伝えし課題として提示した点は概ね業務改善、DX推進の課題となることが認識できた。 1/23の大和町での研修会に向けた情報提供と課題認識の共有を講師と図れた。
具体的な成果物	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。 <input checked="" type="checkbox"/>⑦その他</p> <p>1/23の大和町での研修について、実施概要（日時、時間、形式）、ご説明内容のすり合わせが十分に実施できた。</p>
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	大和町のDX推進状況、課題、過去の調査等をご説明し、高橋講師からも講評を頂いたほか、現場担当としてお話ししていただきたい内容もご説明し、講師にも十分ご理解頂いており、次ステップとしては、研修資料を研修前に頂くこととした。
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>1/23の研修会の際はアンケートを実施する予定</p>
4-3. 今後の計画	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい <input checked="" type="checkbox"/>①予算は確保済みであり、年度内に推進する</p> <p>1/23の自治体DX推進の研修会にて、自治体DXを進める意義、進め方をご説明頂き、現在作成中の来年度からの次期DX計画の掲載施策を着実に進めていく</p>
4-4. 事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 業務改善・DX取組の全組織、全職員での意欲的な推進 DXリード人材の育成、全職員のDXスキルの底上げ

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

